

擧

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和7年 1月10日(金) Vol.36

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

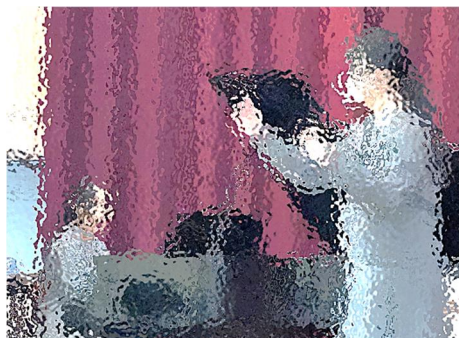
「仲間も自分も大切に」「感動・感謝を大切に」
「団結・協力を大切に」「命を大切に」



【ホームページへ】

みんなで迎えた令和7年

7日(火)は始業式。各クラスに、体調不良等による欠席者はいましたが、冬休み中の大きな事故やトラブルは無かったようで、学校で、またはそれぞれの家庭で、穏やかに新学期を迎えることができました。各学年の代表生徒が、新年の抱負を述べ、それに呼応するような温かい拍手が送られました。



【校歌の歌い初め。指揮、伴奏ともに、たいへん上手でした。全校で歌えるのは、あと何回でしょう…】



【1年生代表は、2学期までの行事の成果を確認し、3送会の成功と学年としての成長に期待を決めて語りました】



【2年生代表は、3年生になる不安や戸惑いに勇気をもって挑戦し、行事も学習も充実させたい、と述べました】



【3年生代表は、入試という大きな目標に向けて個々の力を高め、集団の協調性も大切にしたい、と語りました】



【3学期始業式恒例、「干支おみくじ」。脱皮のように「成長する力」を望む人の運勢は「超吉」。何かを超越したようなよいことがあるでしょう。鼻先のピット器官のように「感じ取る力」を望む人の運勢は「大吉」。大きな幸運が舞い込むはずです。蛇腹のように「どこまでも前進する力」を望む人の運勢は「凄吉」。ものすごく幸せな出来事がきっとありますよ！】

始業式の中で「あいさつの活性化」について話したところ、早速その日の下校から、あいさつを意識し始めた生徒がいました。私が声をかける前に「さようなら！」と元気な声が響きます。清々しい気持ちでその後ろ姿を見送っていると、その生徒は友達に「さわやかなあいさつだろ？」などと言って、笑いながら帰っていきました。また、その翌朝も、自ら進んで「おはようございます！」と声をかけてくる生徒の姿が、たくさん見られました。

変えよう、変わろうと思った瞬間から、人は変わっていくものです。あいさつ、学習、リアクションやメリハリなど、一人ひとりが「変えよう、変わろう」と思ったことを、意識して実践してみましょう。意識が変われば、行動が変わります。行動が変われば、習慣が変わります。習慣が変われば、結果が変わるのです。

自分の身を、自分で守れるように

始業式が終わった後は、火災を想定した避難訓練を行いました。理科室から出火し、延焼しているので校庭に避難する、という想定です。指示を受けて、防災頭巾を被って、整然と、速やかに各クラスが避難を始めました。これまでよりも短い時間で、全校生徒の避難が完了しました。

風が吹き抜ける1月の校庭はたいへん寒いですが、生徒は講話に耳を傾けました。

先生からは、「火災で最も恐ろしいのは煙です」と話し、視界が遮られること、有害な物質であること、煙そのものが高温であることなどから、煙を避けて避難することの大切さについて説明しました。



【生徒の避難が完了したら、先生はすぐに点呼。逃げ遅れがないかを確認し、担任から学年主任へ、学年主任から教務主任へ…と人数を確実に伝達します。逃げるだけでなく、生徒全員の安全を確保することも、私たち教職員にとって大切な仕事なのです】

昨年の1月1日に、能登半島を中心とした震災が発生し、今なお困っている人がたくさんいることが大きな課題である、と報道されていました。また、30年前（平成7年）の1月17日には、阪神淡路大震災が、関西地方で発生し、建物の倒壊や、広範囲の火災などで、甚大な被害が発生しました。そして、14年前（平成23年）の3月11日に、東日本大震災が発生し、原発事故や津波が発生し、大惨事となりました。災害は突然に発生し、身の回りの様々な「当たり前」を奪っていきます。

災害に備えて考えなければならないことはたくさんありますが、自分の身を自分で守ることと、互いに助け合うこと、そして、今の生活のありがたさを噛みしめて生活することを、これからも意識して生活したいものです。

3年生は、いま



9日(木)、3年生は最後の実力テストに臨みました。

17日(金)から、県内の私立高校の入試が始まります。この実力テストを、腕試しのような感覚で臨む人がいる一方で、結果次第で、受験校を変えようかと考えている人もいることでしょう。いずれにしても、このテストの点数だけで一喜一憂している場合では

ない、ということは、3年生ならば誰もが分かっていることでしょう。

身に付いていること、いないことを最終確認し、入試までの日々を、健康第一で過ごしてほしい、と心から願っています。私立高校が第一希望の人、公立高校を第一希望として、その前に私立高校で地固めを考えている人など、様々ですが、誰にとっても、緊張する日々が続きます。入試に臨むには、学力や集中力はもちろんですが、ストレスやプレッシャーに負けない心持ちも、たいへん重要なのです。

本校生徒の皆さんが、リラックスして、これまで蓄えてきた力を、存分に発揮できますように。

【来週、入試がある皆さんへ……次の点を心がけましょう】

- 入試会場の場所、交通手段、必要経費（ICカード類の残高も）、時間などを確認しましょう。
 - 持ち物を事前に確かめるとともに、服装、靴、鞆など、傷みや汚れがないか、確認しましょう。
 - 会場に着いたら、トイレの場所を確認しましょう。
 - 試験の際は、初めに必ず名前や受験番号などを書き、提出前にもう一度見直しましょう。
 - 試験が終わったら、寄り道をせず、まず帰宅しましょう。家に帰り着くまでが入試です。
- ※念のため、自宅・保護者の携帯電話や中学校・受験校の電話番号を控えておくといよいでしょう。

1、2年生も頑張る



【バレエ部：11日・12日、シード決めの試合に臨みます】

【吹奏楽部：11日、ふれあい文化祭に出演】

【男子テニス部：11日、県選手権大会印旛支部予選】

【卓球部：県強化大会 11日・男子個人、12日・女子個人】